

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2021. 11. 24

担当：学びの場クリエイター 西村



11月9日（火）・16日（火）

三浦小学校5・6年生「木工教室」

6年生が木工で卒業制作をしている三浦小学校。歴代のツリーハウスも担当してくれた先生は、町内の木工職人の松田勤さん・志津子さん。今回はベンチの制作です。

まず1回目は、丸木から、木の皮をはぐ作業です。前日の雨がしみ込んでしっとりした木に向かい、皮はぎの道具やマイナスドライバーを使ってどんどん皮をはいでいきました。

「長くはがせると気持ちいい！」

「もっともっとはげる」

「(木はだが) ツルツルで気持ちいい～」

黙々と、集中する人…

長い丸木2本と、テーブルの天板になる太い木が、それぞれスッキリと仕上がりました。

(ツルツルになりすぎて、軽トラに積むのに苦労するほど！)

・2回目は、ペンキ塗りと組み立て・設置作業。ベンチになる木は、松田さんの手で「えんぴつ」に変身していました！それをみんなの手で、それぞれ赤色と水色のえんぴつに。

「ハケのあとが残らないように…」

5年生、6年生が分担して、小さな移動式のイスと、テーブルの天板も含め、きれいにペンキが塗りあがりました。

そして、みんなで作った木材を、松田さんがいろいろな道具を使って組み立ててくださり、どっしりとした立派な、かわいいテーブル・ベンチのできあがり☆

「みんなでお弁当を食べたい」という願いを、6年生の卒業までに実現してください！三浦小学校に、また1つステキな場所ができましたね。





初めての道具、初めての体験でしょうか？



長くはげると気持ちいい！



どんどん作業を進めるみんな



ペンキ塗り。どうすればきれいに塗れるか…



みんなで分担して



この木は何歳？ 年輪を数えてみよう



いろいろな道具が、組み立てには重要です



みんなで作った思い出がずっとここに残りますね！